



鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子

Take Free
創刊号

〈が や〉
Gaya.



コンセプト

「地域がもっと楽しい居場所になる」

ここ、鎌ヶ谷には
自分たちで仲間を集めて、
地域を盛り上げたり、
より住みやすいまちになるような活動をしたり、
それを支援するための活動をしている素敵な団体がたくさんあります。

そんな鎌ヶ谷市民の活動を多くの方にぜひ知っていただき、
また新しいコミュニティが増えることを望み、
鎌ヶ谷市と鎌ヶ谷マネジメントラボが協働して、この小冊子をつくりました。

鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子「Gaya」創刊号 2018/1/28

発行：鎌ヶ谷マネジメントラボ 鎌ヶ谷市

*この冊子は平成29年度 鎌ヶ谷市市民活動支援補助金の助成を受けて作製しています。

〈が や〉

Gaya.

コンテンツ

特集1 鎌ヶ谷市市民活動団体の紹介

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂	4
エコネットかまがや	6
鎌ヶ谷市ペタンク協会	8
特定非営利活動法人 鎌ヶ谷たすけあいの会	10
ドランカーズ	12
シニア・ピア・なごみ	14
ぶらり鎌ヶ谷	16
一般社団法人 鎌ヶ谷青年会議所	18

特集2 身近な組織・施設の人にインタビュー

鎌ヶ谷市の施設を利用してみよう！	20
南初富コミュニティセンター	21
鎌ヶ谷自治連合会	22
鎌ヶ谷市役所・市民活動推進課	23
コラム "人とのつながり" が生み出す鎌ヶ谷の可能性	24
かまラボがお手伝いできること	26
編集後記	27

◎記事を読み、団体のことをもっと知りたいたと感じたら…

鎌ヶ谷市市民活動推進センターのホームページに「団体一覧」が掲載されています。そちらもご覧下さい。

鎌ヶ谷初の「子ども食堂」

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂



幼い頃から世話好きだった御代川さん（写真下段右から2番目）。

テレビで知った子ども食堂の特集を見たことから、自分の子ども時代の温かい食卓を思い出します。

御代川さんの子ども時代の「温かい食卓」という原体験からスタートした「鎌ヶ谷」こどもだんらん食堂」。初回の開催から2年が経つ今では、なくてはならない子どもの「だんらんの場」として地域に根付いています。

団体情報

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂

代表：御代川 麻奈美

Te l：050-5318-7996

Ma i l：info@kamadan.space

分 類：任意団体

活動分野：保健・医療・福祉 /

まちづくり / 子ども

会 費：お問い合わせ下さい

原体験は自身の子ども時代

幼い頃から世話好きだった御代川さんは看護師や指圧師という仕事を通して、人が元気になるのが大好きだそうです。そんなある日、テレビで子ども食堂の特集を見ました。

その時、自分の子ども時代の風景が心に浮かんできたそうです。それは話をよく聞いてくれた優しい両親のもと、8人家族で囲んでいたワイワイガヤガヤと賑やかで温かい食卓でした。

子ども時代の食卓が今の自分を育ててくれたということが大人になってよくわかり、だからこそ、子ども食堂は必要だなと感じた御代川さん。思わず言った「やりたいな」という言葉に「手伝うよ」と言ってくれた5人の仲間と一緒に「鎌ヶ谷こどもだんらん食堂」を始めることにしました。

始めるまでの準備もたくさん

まず準備室を作って動き始めました。関係機関に「子ども食堂を開きます」と挨拶に行ったり、既に始めている他所の



援をいただいて市とつながれたのもあり

初期の食堂が今の礎に

「食事の多く作りすぎたり、メンバーの熱意の違いなどでもめることもありまして。だからこそ、次のクリスマス会ではどうしたらいいのかと熟慮できた」と御代川さんは熱心に話してくれました。

「安全性と衛生面です。アレルギーを持っている子かどうかのチェックは毎回しています。(幼稚園児は保護者同伴で参加してもらいます。) スタッフの中の栄養士さんに、食品の安全性と衛生面はチェックしてもらっています。子ども達が調理になるべく参加しても

開催時にこだわっていること

初回の食堂から2年目となる現在、「鎌ヶ谷子どもだんらん食堂」は東部学習センターにて、毎月1回定期的に開催しています。

がたいことだったそうです。1回目の子ども食堂に参加してそのまま会員になって下さった方もいました。一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所のイベントで寄付をいただくなど、資金面、人材面、参加者数の点からも2回目は大盛況のもとに終わることができ、現在の活動の基礎ができました。



特に印象に残っていること

「スタッフの一人が、『私たちは微力かもしれないけど、無力ではないんだ』と言ってくれたことが心に残っている言葉です。3人の高校生がチラシを見て、『協力させて下さい』と言ってきてくれたこともそうですね。そんなこともありスタッフの層が厚く、高校生から70代ぐらいの人々が協力してくれています。できる時にできる人にきてもらう形で運営しています。それと食事作りのお手伝いや野菜提供、寄付を通じて人の優しさが伝わってくることも印象に残っています。」



子ども食堂の難しさと良い面

「今、参加者は小学生が多いんですが、その子の年代年代に必要なことや時間などは違ってくると思うので、鎌ヶ谷で子どもを対象に活動している方々といふ力タチで手を組んで、子どものためのセーフティネットを敷いていけたらいいな、様々な形式の子ども食堂が増えて繋がっていったらいいなと思います。」

子どものための鎌ヶ谷を

「今、参加者は小学生が多いんですが、その子の年代年代に必要なことや時間などは違ってくると思うので、鎌ヶ谷で子どもを対象に活動している方々といふ力タチで手を組んで、子どものためのセーフティネットを敷いていけたらいいな、様々な形式の子ども食堂が増えて繋がっていったらいいなと思います。」

お話を伺っている時、御代川さんの熱意とやさしさが、真剣な眼差しの中から溢れ出ていました。



楽しく温暖化防止を学んで地球へ恩返し

エコネットかまがや



「活動の説明をするのにわかりやすいでしょう」と、大きなパネルを持って現れた「エコネットかまがや」代表の西川さん。「地球温暖化防止」という大きなテーマに取り組んでいます。ゴーヤのグリーンカーテン、傘の生地でエコバックワークショップ、小学校で環境学習を実施しています。



市の環境講座がきっかけ

エコネットかまがやは、市の環境講座に集まったメンバーで講座終了後に自分たちでも何かやるうという話になり10年前に設立しました。元々、西川さんは大気汚染のため酸性雨が降り森が枯れるのを防ぐため、原因である窒素酸化物を除去する為の触媒を作る企業で働いていたそうです。そのため知識が豊富で、「このまま二酸化炭素が増えていくと人間の生活が成り立たなくなる、今の地球は危ない」と強く感じていました。

温暖化防止をキャッチフレーズに、「地球温暖化をしたのも人間なら元に戻すのも人間の使命である。地球に恩返しするつもりで、いたわりましょう。そのためには、ひとりひとりに呼びかけて、啓発していくことが大切である」と常に思っているそうです。

具体的な活動としては、ゴーヤカーテンの普及、使わなくなった傘から作るエコバック作り、市内外の幼稚園・小学生を対象に「環境学習」として牛乳パック・ジュースパックの再利用を啓発する出前講座を定期的開催しています。

団体情報

エコネットかまがや

代表：西川 久雄

Tel：047-445-2832

Mail：hisao1017@jcom.home.ne.jp

分類：市民公益活動団体

分野：環境保全

会費：1000円 / 年間

ゴーヤと傘でエコ活動!

まずはゴーヤカーテンについてお聞きしました。部屋の温度を3〜4度下げることがあるので、クーラーの使用を抑える事ができるそうです。

ゴーヤカーテン作りは土作りから始まります。育て方講座を5月に開き、育つ途中で「カーテン作り講座」、そして「ゴーヤのカーテンの「コンクール」」で表彰収穫後にゴーヤレシピの料理教室を開催します。美味しく味わうだけでなく、なるべくごみを出さない工夫をして料理を作るというテーマも含まれていました。チーム対抗で、出たごみの量を測り、どのチームが一番ゴミを出さなかったか競争するそうです。楽しそうですね。

これら一連の流れを通して親子で参加すると、良い夏休みの自由研究になるのではないでしょう。

エコバッグ作りは市の助成金を利用して、ミシン3台を購入したところから始まりました。不要になった傘の布を切り縫い合わせて作ります。これはスーパーのレジ袋を減らす効果を上げることが出来ます。ご自分の傘を使用している「マイバック作り教室」を年に2回開催しています。この2つの取組みは、広報かまがやで参加者募集を行っているとのこと。



子どもたちの感想文は宝物

「環境学習」の出前講座は、県の環境学習の認定を受けました。県内の幼稚園や小学校など、市の垣根を超えた活動を行っています。

牛乳パックを作るためには針葉樹を何万本も切り倒すので、環境破壊に繋がることにならないように再生紙としてごみ分別することの大切さを教えます。その後で牛乳パックを使った帽子を子どもたちと一緒に(時には、パクパク人形など)制作します。

「講座の後に子どもたちから送られてくる感想文を目にすると、また違った見方があることに気づかされ新鮮な気持ちになり、次につなげるパワーのような宝物をもらった気持ちになります。こうした楽しみがあるから続けられていると思います。」と目を細めてお話しして下さいました。



活動を円滑に続けるために

現在、女性3名、男性10名が同会で活動していますが、イベントを円滑に行きには、まだまだメンバーが足りなそうです。「自分たちが取り組んだ事で参加した方にも喜んでいただける楽しさ

とやり甲斐を多くの方に味わってほしい。」とおっしゃっていました。

静かな口調で淡々と、しかし言葉には熱い思いが込められていました。インタビューを終えた西川さんの満面の笑顔が忘れられません。



どの世代もご一緒に！鎌ヶ谷でペタンクを楽しもう♪

鎌ヶ谷市ペタンク協会



晴れわたった秋の空の下、体育館前
にある林の木々を縫うように空いた場
所を3面に区切って、練習試合が始まっ
ている中で「鎌ヶ谷市ペタンク協会」
にお話を伺いました。ペタンクとはフ
ランス発祥の球技で、名称は南フラン
ス・プロヴァンスの方言「ピエ・タン
ク（両足を揃えて）」に由来するそう
です。テランと呼ばれるコート上に描い
たサークルを基点として木製のピュッ
ト（目標球）に金属製のボール（ボール
を投げ合って、相手より近づけること
で得点を競うスポーツだそうです。



団体情報

鎌ヶ谷市ペタンク協会
代表：綾部 利一（会長）
Tel：047-443-9122
分類：市民公益活動団体
分野：学術・文化・芸術・スポーツ
会費：1000円 / 年間

4年間で市内65名の会員数に

「鎌ヶ谷市ペタンク協会」は、5年前
の2017年6月2日に設立されました。
その時は6名でのスタートでした。そ
の2年前にくぬぎ山で初めて出会った
大屋さん（現・東京シニア・ペタンク
倶楽部会長）から誘われてペタンクを
体験し、その面白さに魅了され「地域
貢献にもなるからやってみよう」と、
鎌ヶ谷の三田会を中心に綾部利一さん
（現・鎌ヶ谷市ペタンク協会会長）、住
友史人さん（同協会事務局長）が会を
作りました。当初は「鎌ヶ谷ペタンク
クラブ」というサークル名でしたが、「日
本ペタンク・ボール連盟」「千葉ペタン
ク・ボール連盟」に加入した際に現在
の名前に変更しました。その後、平成
28年に「鎌ヶ谷市体育協会」にも加入
して、ペタンク愛好の仲間が増え、現
在の会員数は65名ほどになりました。

「ペタンク」ってどんなゲーム?

ペタンクのゲーム構造はカーリング
やボッチャに似ていますが、一定の広
さの土地（芝生は不可）があればプレー
できるので競技コートが取りやすく、

金属製の専用ボールだけあればその他の費用がかかりません。さらに子どもからシルバー世代まで一緒にプレーできるなど、色々な魅力に溢れているスポーツのようです。日本のペタンク人口は40万人、フランスではなんと500万人もの人々がペタンクを楽しんでいるそうです。



実際に体験させてもらいました

「カーリングは目標が固定されていますが、ペタンクは目標が弾き飛ばされて位置が変化する場合もあり、どんでん返しの結果になるんですね。かなり戦略的に進められるんです。チームの中で初めに投げる人、中間、最後、と投げる方を決めるのですが、それぞれが役割をもって、相手のゴールをどう攻めていくのか作戦を立てながら進めていきます。そこが一番おもしろいところです。」と綾部さんと住友さんに話を聞いていましたが、突然「説明を聞いているより一緒にやってみたほうが早いですよ。」と言われるまま、私たち取材チーム2名は、3人一組のメン

バーに配置され、いきなりプレーボール。ちなみに3人でプレーするのは「トリプルス(トリプレット)」といい、目標のビュット(木製または樹脂製で着色は自由) 目掛けて直径70〜80ミリほどの金属製のボール(ボール、650〜800グラムを各自2球ずつ放り投げ、目標球へより近づけた方が勝ちです。距離の測定はメジャーと呼ばれる専用器具で行います。

ペタンク初心者の2名に、それぞれのチームの上級者が投げ方や点数のつけ方などを丁寧にやさしく教えて下さり、しばし取材を忘れゲームに熱中するも、ビギナーズラックも出せず、本気で悔しがるというおまけ付きでした。



大会にも活発に参加しています

「簡単なスポーツですが、奥が深いんですよ」と皆さんが言うように本当に球の投げ方ひとつをとっても、カーリングのように相手方チームの球に自分の球を当てて遠ざけるなど、戦術とテクニックが、

モノをいう楽しいスポーツということがよくわかる経験でした。

「全国大会への参加を目指しているの、数々の大会に参加して他市の皆さんとの交流もかなりありますよ。」と綾部さんと住友さんが楽しそうに話します。ちなみに大網白里の大会では3位になりました。発生の地フランスでの大会に行くツアーもあるそうです。

小さいお子さんにもオススメ

これからの抱負を伺うと「ペタンクは、競技を楽しむこと以外に、適度な運動で健康管理など自分が楽しむこともできる特性を持ったスポーツなんです。これ

からは、もっと大勢の人にペタンクを楽しんでもらいたい、特に小学生など小さいお子さんにも参加してもらいたいですね。」と綾部さん。そのためにも春と秋に2回の初心者講習会を行っており、「広報かまがや」に募集記事を掲載しているそうです。鎌ヶ谷市ペタンク協会へ入会するには、入会金1000円、年会費1000円が必要です。現在、練習は、中沢の多目的グラウンド、五本松小学校の校庭、福太郎アリーナの体育館脇広場の3か所で順番に行っているそうです。

私たちが一緒に仲間に入れていただきプレイして一番に感じたことは、いい仲間が大勢できることの喜びでした。



平成28年度 第1回鎌ヶ谷秋季オープンペタンク大会の様子

「お互い様」を大切に
する有償ボランティア団体
特定非営利活動法人

鎌ヶ谷たすけあいの会



お互いが相互扶助の心と対等な立場で助け合って生きてゆく地域社会を目指すことを目的に、平成8年4月に有償ボランティア団体として誕生した「鎌ヶ谷たすけあいの会」。相互互助の心と、対等な立場で色々なサービスの交流を行いながら助け合って生きていく地域社会を目指している市民団体です。
代表の中山さん（上写真左）と、窓口担当の福田さん（上写真右）にお話をお伺いしました。



気軽に助け合えるグループを

貝殻山公園北口のすぐそばに、鎌ヶ谷たすけあいの会の事務所があります。小さいけれど机・パソコン・コピー機・書類棚にはたくさんさんの書類。そしてミーティングスペースもある立派な事務所でした。「困ったときはお互い様。そんな気軽に助け合えるグループがあったらいいね。作ろうか!」という雑談が発端でした。地域福祉のネットワークを全国に展開している「財団法人 さわやか福祉財団」の会長である堀田力氏の研修を受け、立ち上げのノウハウを教えてくださいました。「たすけあいの会」を発足しました。

主な「たすけあい」活動

- ① 日常生活の中で困ったときに会員相互で助けあう「助け合いサービス（有償ボランティア）」
- ② 介護保険認定の方・障がい者手帳をお持ちの方の外出の送迎及び介助の「移動サービス」（※会員登録が必要）
- ③ 介護保険法に基づく、ご自宅へのホームヘルパー訪問介護サービス 等。

団体情報

特定非営利活動法人
鎌ヶ谷たすけあいの会

代表：中山 良行（窓口：福田）
Tel：047-444-6569
Mail：tasukeai@violet.plala.or.jp
分類：市民公益活動団体
分野：保健・医療・福祉
会費：お問い合わせ下さい

色とりどりの活動のきっかけ

代表の中山さんは就任して6期目。入会したきっかけは、まだ仕事をしていた時に会員として利用したこと。そのときに随分とお母さまがお世話になったため、仕事が終わった時恩返しをしたいと強く思ったからです。



同席して下さった事務局の福田さんは、設立当初から現在までずっと会を支えてきた方です。当時は4代前半で小学生のお子さまがいましたが、事務にとどまらず、なんでもやってきたそうです。お子さんのPTA役員活動が一段落したのをきっかけに、何かボランティアをしたいと探していたところ、新聞に「たすけあいの会」の募集記事がありました。一番若かったので、無我夢中で色々な訪問先へ飛び回っていたそうです。「家族の理解があったからやってこれた」と話す福田さんの娘さんは、人を助ける仕事に就いているそうです。



会報「ピープル」

「とにかくうちはボランティアが先。一番最初からやっているものなので」と福田さん。依頼があればまず「たすけあいサービス」で対応し、足りない部分を介護保険サービスで補います。事務局とお手伝いの方たちが信頼関係をしっかりと築いて支えあっている。だからこそ今日まで続いているんだと力強い声でした。

会報から広がる思い出

設立当初から続けている会報の「ピープル」のバックナンバーを見せていただきました。活動の楽しさや、丁寧な報告など盛りだくさんです。1号目から順を追って活動の説明して下さる中、「活動の節目と歴史がわかっていいね」と、ここからお二人で思い出話に花が咲きます。活動資金を集めるためのバザーを開くため、一番最初の6畳ほどの事務所をわいわい値札つけをした事、訪問時の苦労や嬉しかった話など、どんどん出てきます。

3つのモットーが活動の中心

最後に、今後の活動についてお聞きしました。「利用者を増やしていきたいと思っています。困っている人は電話して下さい。」「このことで、たすけあいの会は

「おしきせでない・金もうけでない・ほどこしでない」をモットーに活動しています、とお話されていました。

笑いが絶えない楽しいインタビューをさせていただきました。



鎌ヶ谷のオールディーズ・バンド

ドランカーズ



単独のライブをはじめ、自治会や施設からの出演依頼、レインボーホールでの公開練習など積極的に活動し、鎌ヶ谷市主催の市民活動フェスタ「さらりのWA」での演奏風景はYouTubeでUPしているので是非「鎌ヶ谷ドランカーズ」で検索を！

東部学習センター地下1Fには防音のスタジオがあります。厚いドアを開けると「テケテケテケ…」と、なんだか聞き覚えのあるエレキギターのフレーズが飛び出してきました。ベンチャーズの有名なあのギター部分です。「テケテケおじさん」こと森田さんが笑顔で迎えて下さり、インタビューを行いました。

団体情報

ドランカーズ

代表：森田 和雄

TEL：047-443-8027

Mail：2129210401@com.home.ne.jp

分類：任意団体

分野：学術・文化・芸術・スポーツ

結成9年目の「オヤジバンド」

2009年、居酒屋でたまたま出会ったメンバー。森田さんが持っていたピックをきっかけに話が盛り上がり「バンドやろうか！」とあっという間に話がまとまりました。その名も「ドランカーズ」後に、総合病院の患者さんまで熱狂させるオヤジバンドが鎌ヶ谷に誕生しました。

個性あふれる仲間たち

ギターは学生の頃にかじったものの、Fコードに挫折したという鈴木さん。メンバーと出会った67才と2か月の時に本格的に始めた事になるのですが、やると思ったものの、下手な演奏でメンバーの足を引っ張ってしまうんじゃないか、今更このトシで弾けるようになってるのか？思い悩んだ末に奥様に相談したそうです。返って来てたのはたった一言「オトコならやってみろ」こうしてダジャレ好きで話すと止まらない陽気なベースマンが誕生しました。

ドラムカーズの公演ボスターを見て「オレもやりたい！ー仲間に入れて！」と飛び込んできた最年少の長谷さん。リードギターを担当。メンバー全員がテクニックを褒める腕前です。中学生の時「ブ口になる」とギターにハマったそうです。レインボーホールでのライブを聞きに来てくれたお客さんから「握手してもらえますか」と求められた事があったそうです。「スターの気持ちがちよっとわかった」と少年のように笑っていました。

家にもドラムがあるという高瀬さん。中学校の時チューリップのコピーバンドとして活動を始めたそうです。高瀬さんは鎌ヶ谷第二中学校のすぐ近くで居酒屋さんを営んでおり、メンバーの集いの場にもなっています。

「ベンチャーズのサウンドが好きなので、当時の音、それもなるべくオリジナルに近づけて再現したい。真空管のアンブリアないと、音がでない」とかなりのこだわりをもっておられる森田さん。ベンチャーズの完璧な「テケテケ…」を再現するためにギターにこだわり、年金をつぎ込み、練習を重ねている「テケテケおじさん」の森田さんでした。

選曲にもかなりのこだわりがあり、「ダイヤモンドヘッド」「ウォーク・ドント・ラン」「パイプライン」の3曲は必ず最初に演奏するそう。日本の歌謡曲も手掛けているベンチャーズなので、「雨の御堂筋」他、数曲メニューに入れるそうです。

市内各地で演奏しています！

結成後まもなく、早速自治会からオファーがきました。敬老会での演奏です。また、鎌ヶ谷市主催の市民活動フェスタ「きらりのMA」で演奏したところ、それをきっかけに、なんと鎌ヶ谷総合病院でライブのオフアワーがきたそうです。病院なのに、エレキギターを演奏しているものか、みなさんかなり悩んだそうです。

しかし病院の担当者の方は、「音は絞らず、ドーンとやって下さい」とリクエスト。当日は天気が悪いにも関わらず150名以上の観客が集まりました。そのうち3、40名くらいは点滴してる人もいたそうです。心配してた事は何もなく、大いに盛り上がったそうです。

健康と地域貢献でも

これからの目標等伺ってみましたところ「こういう年齢の人ができてるところをみてほしいし、若い人にも聴きに来てもらって昔だつて良い曲がたくさんあった事を知ってほしいですね。健康と地域貢献のために活動を続けていきたいです。」と真剣な表情で森田さんが答えて下さいました。

公開練習もあります

ライブが迫ってくると、東部学習センターのレインボーホールで公開練習をするので、どうぞ気軽に入って下さいとのこと。ドラムカーズのみなさんと一緒にベンチャーズの曲を楽しみましょう！



鎌ヶ谷総合病院での演奏の様子

「傾聴」を通して心のケアを行います

シニア・ピア

なごみ



鎌ヶ谷市内で15年間「傾聴ボランティア活動」をしている「シニア・ピア・なごみ」会員45名で市内の老人福祉施設6か所・個人宅18軒を定期的に訪問し、高齢者の方が少しでも明るく元気に暮らすための心のケアを行っています。

震災にて被災された方のケアとしても「傾聴」は広く報道されましたが、今回は会長の鈴木さん（上写真右）と、広報委員長の渡邊さん（上写真左）に、「傾聴」についてエピソードを交えながらお話いただきました。



それぞれの「傾聴」との出会い
会長の鈴木さんは15年前「傾聴」の文字に惹かれ、傾聴養成講座に1期生として入りました。
その時から鈴木さんの傾聴活動が始まりました。今では10年程訪問している個人の方もいらっしゃるそうです。

渡邊さんは、母親の介護で新潟のホームに通っていた当時、お子さんが3人いたので「ここに来るより自分の家の近所だなにかやあってあげなさい。」と母親に言われたそうです。その頃、よく一緒に話をしていた、家の近所に住む、母親と同年代の方が2か月会わない間に渡邊さんの顔を認知することが難しくなっていました。
「おばちゃん、わかる？」と話しかけると、帰る時にはだんだん思いたしてくる様子を見て、話し相手というのはとても大切なんだなと感じたそうです。

そんな思いをしたとき、広報を見て渡邊さんも養成講座に参加しました。そして、人の話を聴くことの難しさも実感されたそうです。

団体情報

シニア・ピア・なごみ

代表：鈴木 和子

Tel：047-419-8048

Mail：torako-suzuko@nifty.com

分類：市民公益活動団体

分野：保健・医療・福祉

会費：1000円 / 年間



傾聴活動をする前の「養成講座」

シニア・ピア・なごみでは、傾聴活動の前に必ず「養成講座」を受講することとなります。

というのも、傾聴は「聴く（意識して聴く）」と「聞く（意識せず何となく聞く）」の違いを身をもって知ることから始まるからです。ひたすら相手の話を聴いていくことで、大切なのは「相手の気持ちであって、自分の気持ちではない」ということだとお話ししていました。

相手の話を聴く時は、まず自分の心を開いていくこと。相手の話を全部受け止めていくうちに信頼関係ができます。初めての方に対しては緊張をほぐすような会話から入っていく：などのスキルを学んだのちに、実際の傾聴活動を行うことができるのです。同時に、活動する上で非常大切な、守秘義務についても学びます。



活動のエピソード

傾聴活動は、ご家族の希望があれば個人宅へも出かけますが、まずは地域包括支援センター・ボランティアセンターなどへ出向きます。またはケアマネジャーから連絡がきて、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・サービス付き高齢者向け住宅等で活動するそうです。

人によっては1時間くらい一人でお話する方も。認知症の方や、お年の方も多いので筆談や、手を握っているだけの時もあります。

「長年傾聴をしてきた方で、ハキハキとお話はなさってもご家族とか踏み込んだお話はなさらなかった方が初めてご自身の体調のことを話されて、『こんなこと話したのは、はじめてよ。』と言って下さり、さらに一步受け入れてもらえた、信頼して下さったことがうれしかったですね。」とは鈴木さんのお話。

これからの事

老人の孤独死が増えて社会的な問題になっていきます。共有する居場所を作り、「傾聴」の機会を持つことが孤独死などの状況を防ぐ鍵になるなら、興味をもつて下さる方からボランティアへとつなげる

傾聴講座を増やしていきたい、とのこと。

「傾聴に関する団体や個人がもっと増えて、お互い勉強しあい、情報共有していけるといいですね。」とお話して下さいました。お二人の穏やかな声が印象的でした。



福祉フェアでの出展の様子



まち歩きを通して居場所づくり ぶらり鎌ヶ谷



「地域とのつながりや、人との関わりはすぐにできるものではない。特に男性は職場と家の往復だけという方が多いので、まずは住んでいる地域の事を知り、自分が生き生きできる居場所を見つけるきっかけになればと活動しています。」

10年前、ボランティア活動を活性化するため、ボランティアセンターと市の申し出もあり、当初7名のメンバーが集まり、一番若いからとの理由で上開地さんが代表となった「ぶらり鎌ヶ谷」。当初のメンバーはほとんどが女性で男性は少なかったそうです。

それでも、上開地さんは男性という立場から、男性会員を多く募ったそうです。

男性いっぞ、来てほしいー

「鎌ヶ谷から都心などに働きに行き、家には寝に帰るだけの働く世代は、ほとんど地元を知らない。会社を定年で辞めても、自分の居場所を見つけない。そのような人々に鎌ヶ谷を知ってもらいたい。そのうえでやりたいことをやってみよう。やりたいことを見つければいい。それなら、それでは良いと思いませんか。」と、上開地さんは穏やかに話して下さいました。

入会したのも何かの縁だから、この会とつながってくれていけば良いという趣旨の元、退会規定もなく、あえてゆるい会則にしているとのことでした。23〜24名のメンバーのうち、ほとんどの会員が他団体にも所属しています。専属で活動しているのは6名とのこと。鎌ヶ谷での居場所づくりになってくれれば、と思っているので活動場所もあえて鎌ヶ谷市内に特化しています。

団体情報

ぶらり鎌ヶ谷

代表：上開地 真理男

Tel：047-445-7868

分類：市民公益活動団体

分野：保健・医療・福祉 /

社会教育 / まちづくり /

学術・文化・芸術・スポーツ

会費：1000円 / 年間

意外と知らない鎌ヶ谷のこと

会計担当である入会4年目の井上さん(写真左)はこう話します。

「鎌ヶ谷を再発見したい。鎌ヶ谷の産業は何かという問いに答えられる人は少ないでしょう?」と。

例えば…と、その場にいた私たちも考えました。「山屋食品」さん、「私市醸造」さん、「トオカツフーズ」さん等々、確かに食品工場が多いことに気づきました。

「ケーキ屋さんもたくさんあるんですよ。」これにも「確かに!」とその場で盛り上がりました。



また、鎌ヶ谷の歴史にも詳しく、歩くコースによって見どころも違います。江戸時代の地図と現在の地図を比べ、歴史的に名の知れた建物・湧き水があった所などを、ぶらりぶらりと説明しながら歩いていきます。鎌ヶ谷の裏道もほとんどご存知のことでした。すごいですね。

コロナもしていきたい!

これからはもっと他団体さんとのコラボを目指していきたいと思っていられるそうです。例えば「鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク」さんとコラボしてまち歩きをした時の事です。

「自分がどこを歩いているのかわからなくなったら、自動販売機を探して下さい。なんとそこに住所が書いてあります。急病人を見つけて救急車に出勤要請する時など、役立つかもしれません。」といった内容を盛り込むことができました。

このように、災害救援ボランティアネットワークさんは災害に備える、災害時に役立つことを知っています。対して、ぶらり鎌ヶ谷は鎌ヶ谷を知っている。コラボを組めば倍以上の効果が生まれそうです。

定例会は毎月2回、街歩きなどのイベントは年に2回です。(イベントは広報がまがやで募集します。)

活動から居場所を見つけて

最後に「私たちは、まち歩きが目標ではありません。もっと鎌ヶ谷を知ってもらいたい、できれば自分の居場所を見つけてもらいたい、そのためにぶらり鎌ヶ谷があると思っています。定年で退職してからというよりは若い時から少しずつ地域と関わり、仲間を作っていけるといいと思いますよ。」と、結びのメッセージをいただきました。



青年集団が地域社会とつながる場

一般社団法人

鎌ヶ谷青年会議所



一般社団法人鎌ヶ谷青年会議所は、
明るい豊かな社会の築くために、また、
より良い鎌ヶ谷の「まちづくり」、「ひ
とづくり」を目指すために、40歳以下
の青年経済人で組織された団体です。
鎌ヶ谷青年会議所は創立してから42年
の歴史があります。
今回は青年会議所監事・2018年度
理事長の竹内直人さんにインタビュー
を行いました。



一年かけたスローガン

「Create The Future」
ワクワクする未来を共に創造しよう
これが竹内さんの掲げたスローガンで
す。(青年会議所の理事長は、就任時に一
年間の目標になるスローガンを考える
ということが日々のしきたりになってい
るそうです。)

「国際性を身につけながら、これからの
社会の担い手である青少年の方々と一緒
に、鎌ヶ谷の未来を創っていかう」とい
う思いと、子ども時代に遊びの中で感じ
たワクワク感も忘れずに行こう!という
思いを表現したかったので、一年間掛け
て、英語の先生にも相談して出来上がり
ました。」と、竹内さん。

学び、一歩目を踏み出す場

会員はこの団体に所属して、知識・見
識を学び高め地域社会にフィードバック
することを目標にしています。
また、集めた会費の中から算出して
いるような事業を計画しています。過去に

団体情報

一般社団法人
鎌ヶ谷青年会議所

代表：竹内 直人

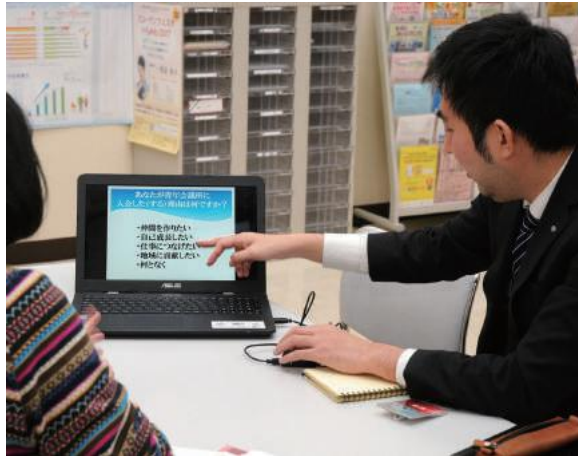
Mail：info@kamagayajc.com

分類：市民公益活動団体

分野：社会教育 / まちづくり /
災害救援 / 地域安全 /
子ども / 経済活動

会費：90,000 円 / 年間

開催したイベントは「かがやの花火」「KAMA-1グランプリ」等々：皆さんもよくご存知のイベントの名前が挙がりました。



竹内さんの感じる「やるべき事」

メンバーの総意をもって事業をやっていくので、大きなことはできないけれど、すでに方針は作ってあるそうで、人が集まるような仕掛けを考えているようでした。また、「1を10にするのは、例えば誰かに協力してもらったらできたりすると思いますが、0を1にするというところが、我々がやるべき事だと思います。動こうという意思がある人もいるし、また意思があっても何をすればいいのかわからない人もいますので、まず一步目を踏み出すきっかけづくりということが第一弾だと思っています。」と、力強い口調で語って下さいました。

竹内さんと青年会議所の出会い

竹内さんは、小・中・高校生の時まで鎌ケ谷市の親元で暮らしていましたが、何か物足りなさを感じ東京の大学へ進学、一人暮らしを始めました。都会には何か自分が満足するものがあるに違いないという思いをずっと持っていたそうです。そのまま就職しましたが、自分が思い描いていたイメージとはかけ離れた現実に行き詰まりを感じ会社を辞めました。2009年鎌ケ谷に帰ってきたものの、5年間は将来を模索しながらアルバイト等をし、その間にスキルを積んでIT関係の会社を設立。東京へ行った経験を活かして地方の企業をより良くしたいというのが自身の目標となり、32歳の時JCI（青年会議所）に入会しました。

「学生時代、鎌ケ谷には魅力的なものは何も無いと思って外に出たのに、地元に戻ってきて地域の人々との交流を重ね、鎌ケ谷が大好きになったこと、また海外でJCIの活動をしている方々との関わりなどを通して自分の住んでいる地元への意識が高まり、更に好きになったことが不思議ですね。」と若々しい笑顔で話して下さいました。

青年会議所では、お仕事をしている皆さんが集まって会合を開くのは午後9時からなので、ご家族の協力や理解が必要ですし、自身の責任感にかかっているところが多いため、一緒に活動しているメンバーには感謝の思いを欠かさないそうです。

オリンピックとつなげたい

これからの目標としては、東京オリンピックが開かれる2020年に向かって伸びている、海外からの観光客などを抱える「成田空港」というツールを最大限に活かして、地元千葉県という観点から

国際性を重視した事業を考えて実行することだそうです。お話しの中から、地方の企業をよくしたいという強い思いが伝わってきました。



START



コミュニティセンターの場合はこちら /



①

利用日の2か月前から先着順で予約できます。



②



☆【コミュニティセンター】利用当日まで
【公民館を含む学習施設】利用日一週間前まで

公民館を含む学習施設の場合 /



①



②

利用日の2か月前から予約できます。予約方法については、各館にご確認ください。



③

おめでとう! これで施設が使えます!



GOAL

鎌ヶ谷市の施設を利用してみよう!

施設名	住所	電話
くぬぎ山コミュニティセンター (児童センター・図書館西部分館併設)	くぬぎ山4-2-46-10	047-389-1401
北中沢コミュニティセンター (児童センター併設)	北中沢2-1-23	047-442-2011
栗野コミュニティセンター (児童センター・子育て支援センター併設)	栗野79-1	047-441-7066
鎌ヶ谷コミュニティセンター	鎌ヶ谷1-6-8	047-444-4293
南初富コミュニティセンター	東初富4-1-25	047-444-4292
道野辺中央コミュニティセンター	道野辺中央2-6-27	047-445-6203

施設名	住所	連絡先
生涯学習推進センター(まなびプラザ)	富岡2-6-1	047-446-1111
東部学習センター	東道野辺4-9-50	047-441-0211
北部公民館	佐津野631	047-446-1076
南部公民館	道野辺61	047-446-3031
東初富公民館	東初富1-10-1	047-446-5555
福太郎アリーナ	初富890-3	047-444-8585
福太郎スタジアム	初富924-283	047-444-8585
福太郎野球場	初富924-6(市制記念公園内)	047-444-8585
福太郎テニスコート	初富924-6(市制記念公園内)	047-444-8585
東野少年野球場	初富806-15	047-444-8585
東初富テニスコート	東初富1-808-28	047-444-8585
中央公民館	高岡1-1-3	047-445-2012
きらり鎌ヶ谷市民会館	富岡1-1-3	047-445-3377

※体育施設の利用方法は一部異なりますので、詳しくは直接お問い合わせください。

昭和40年から61年まで青少年のための施設だった南初富青年館が取り壊されたあとに建設されたこの施設。平成27年には、運営が市から指定管理者が「公益社団法人鎌ヶ谷市シルバー人材センター」に移りました。



南初富 コミュニティセンター

2月には豆まきイベントも

この施設は今、定期的に30団体、不定期に13団体が利用しています。また、年間8団体が市の関連行事で使うことがあそつです。それ以外では「南初富連合自治会」「東武鎌ヶ谷自治会」が中心になって行う交流事業で使われています。毎年2月の第1日曜日に、交流事業運営委員会が主催してお祭りを開きます。今年度は2月4日(日)になります。豆まきがメインで、鎌ヶ谷のマスコットキャラクター「かまたん」が豆入りの袋を来た人に配る予定です。

リニューアルが進んでいます

施設利用に関しては「まだまだ空いている時間帯がありますので団体さんにご利用をいただきたいと思います。現在使っている人の年代はリタイアして自由な時間のあるシルバー世代が多いので、元気なお年寄りにもっと利用してほしい」とのこと。今年になって、駐車場が9台分確保できたほか、トイレの洋式化も進めています。また、「公益社団法人鎌ヶ谷市シルバー人材センター」の管理下で清掃が行き届き、きれいになり、気持ちよく使えるとの評判です。

心遣いが居心地の良さの秘訣

ちよつとした心遣いは、事務所の窓口を飾る一輪挿しの花瓶の季節の草花でも光っていました。そうしたことから、この施設は近隣の方々からの理解や協力も得られて、人びとの活動のための場所としての役割を果たしています。



季節の花は職員や利用者さんからのもの

利用方法

開館時間・料金は左図の通り。2人以上なら団体として申込ができ、通常利用(9時~17時)の場合は当日申請でも可、夜間利用(17時~22時)の場合は7日前までに申請しておくこと夜10時まで使用可能です。但し、事前登録が必須です。



駐車場は9台分と広々使えます

●施設情報

開館時間：9時～17時

- ・夜間利用がある場合は22時まで
- ・二か月前から申込可

利用料金：部屋ごとに異なります

多目的ルーム・1時間 400円

創作室・1時間 200円

和室(1, 2)・1時間各 100円

桜の木が見事な川慈公園の一角にある「会議室」で地区自治会と単位自治会（＝地域の個々の自治会のこと）両方の会長をなさっている本間さんにインタビューをさせていただきました。



鎌ヶ谷自治連合会

● **鎌ヶ谷自治連合会とは？** ●
 「鎌ヶ谷自治連合会」は9つの自治会で構成され、1278世帯（2017年4月1日現在）が加入しています。今回取材した「会議室」は丸山自治会と共同利用の場所。なんと役員さんや住民の方の手作りの建物です。

「絆」を大切にしている連合会

鎌ヶ谷自治連合会では、自主防災・防犯活動や盆踊り大会、敬老会他、多様なイベントも開催しています。例えばソフトボール大会をやりたくても、単位自治会だと人数の問題で難しい事もあります。地区自治会（ここでは鎌ヶ谷自治連合会のこと）だと自治会チーム対抗で盛り上げられます。試合の後は芋煮会で懇親を深めます。絆づくりのイベントは大切だと本間さんは繰り返しイベントは大切飲み物があり、楽しいことがポイントだそうです。



笑顔で語る本間さん

小規模だからこそ、暖かい自治会

この会に所属している「ふれあい自治会」は53世帯の小さな自治会。アットホームなイベントが魅力です。防災研修の後にはBBQのお楽しみがあります。準備も大がかりでなく、ぱっと動けるため小さいイベントなりのメリットがあります。

17年続く「自主防災」

近隣自治会と合同で実施する自主防災訓練は17年続いています。小さい自治会でしつかり住民がつながっているからこそ、合同で大きいことをするときはその絆が活きてくる。日頃から顔が見える近所付き合いをしているからこそ、頼りになる地域コミュニティを作ることにつながる。と本間さんは考えています。



防災倉庫も見せていただきました

本間さんの「想い」

会社を定年で辞めたときに社会に貢献したいと思い、地域に積極的に関わってきた本間さん。「皆さんの喜ぶ顔をみられるのが楽しくて仕方ない。だから次々新しい企画を考えてます。」と本当に楽しそうにお話して下さるので、こちらもワクワクしてきました。一番身近で、参加しやすい地縁型組織である自治会の在り方をもう一度考えてみたくなるようなお話でした。

鎌ヶ谷市役所の正面出入口から入ってすぐ左に曲がると、市民活動推進課のカウンターが目に入ります。今回は市民活動推進係の菊池さんがインタビューを受けて下さいました。

市民活動・地域振興と
男女共同参画のこと
市民活動推進課
(男女共同参画室)



鎌ヶ谷市役所・市民活動推進課

●市民活動推進課とは？●

所属は市民生活部。
地域振興係・男女共同参画室・市民活動推進係に分かれ、それぞれの役割を担っている。具体的な業務内容としては、自治会の支援や「かまがや市民まつり」事務局・男女共同参画の意識の啓発・市民活動団体のサポートなど。

出発点は「市民活動とは何ぞや」

市役所勤務7年目になる菊池さん。最初の3年間は都市計画課に所属、その後現在の市民活動推進課に移りました。最初の頃は、「市民活動とは何ぞや」というところからの出発でした。窓口に来る市民の方のほうがよく知っているのに、相談を受けたり質問に答えるのが大変だったので、一年間は一生懸命勉強したそうです。しかし、その内に経験を積み、自分の中で知識も得られ他市の事例もわかるようになり、様々な相談・質問に対応できるようになったとのこと。

「市民活動の支援」とは

市民活動の支援には、例えば新たに地域活動を始めたい方や、地域と関わっていきたい方を団体に紹介することも含まれます。そうした中で様々なコミュニケーションが増えて、人々の居場所ができて、そのコミュニティが地域のために何かをしていくことで、地域活性化が進んでいく…つまり地域のために何かをしていく団体が増えていくほど、その地域は活性化していくということが言えます。協働の推進も、地域活性化に繋がっていくことが大切だと話します。

印象に残った瞬間

菊池さんがこの1年間で印象に残っていることを語ってくれました。それは、市が毎年行っている「地域づくりコーディネーター養成講座」から実際にコーディネーターとして活動する人達が生まれ、活動を始めたこと。地域の団体紹介・交流が目的の団体のPR小冊子を地域に住む人自らが作ってくれたこととても嬉しいと話してくれました。



電話応対中…。

この課にきて一番良かったこと

「行政側が市民の方々と関係性を作っていくのは難しいことですが、年月をかけてじっくり互いの思いを話し合う中で、たくさんの方々との関係性を構築できたことが一番良かったことです。」と菊池さんは満面の笑みで答えてくれました。



カウンターで温かく迎えてくれました

コラム



"人とのつながり"が 生み出す鎌ヶ谷の可能性

文 鎌ヶ谷市プロジェクトマネージャー
影山 貴大



2015年より鎌ヶ谷市プロジェクトマネージャーに就任し、市民活動・まちづくりの専門家として鎌ヶ谷市市民活動推進センターにて相談業務等に従事しています。ありがたいことに2019年より鎌ヶ谷市役所内にて全庁紹介もされ、所属している市民活動推進課以外の課の事業のアドバイス等にも積極的に関わらせていただいています。その街に住む人たちと一緒に作り上げていくまちづくりを大切に日々業務に勤しんでいます。

地域活性化は「副産物」？

皆さんは人とのつながりがもつ力を感じたことはありませんか？

昨今よく耳にする、地域活性化や地方創生という言葉。なんとなく、地域を元気にする取り組みをしたり、地域経済を活性化させたり...といったことが思い浮かぶかもしれません。実際に、そういった取り組みが各地域で試行錯誤され一定

の成果を出した取り組みがピックアップされることにより、「わが街も」と各市町村が徐々に動き出しています。

確かに地域が活気を取り戻したり、財政が豊かになることは良いことでしょう。しかし、それが地域活性化や地方創生といわれる取り組みの最終的なゴールで良いのでしょうか？私は今出ている地域での成果は、ある状態が生まれた結果の副産物なのではないかと感じています。それが、人とのつながり、です。

幸福と関係する「コミュニティ

言われてみれば当たり前のように思える一方で、実際に人とのつながりがどれだけ我々の人生に影響を及ぼしているか私たちはあまり知りません。ですが、実は昨今の研究では人とのつながりの持つ力が少しずつ明らかになってきています。

例えば、健康に関することであれば、社会的に孤立している人は死亡率が高かったり、人とのつながりが最も寿命に影響をもたらしたりするそうです。それ以外にも「幸福」に関しては、信頼できる人がいればその人の幸福度が高まり、逆に幸福度が高い人は人を信頼していたり、何かしらのコミュニティを持つ人の方が幸福度が高いという研究データも出ているようです。

社会的孤立度の高い国

このように人生そのものにも大きな影響をもたらす人とのつながりですが、現状の日本ではそのつながりの希薄化が一



職場の関係の希薄化
親戚の関係の希薄化
地域の関係の希薄化

CRファクトリーではコミュニティ・人のつながりについての取り組みや研究がされています

鎌ヶ谷市と連携した講座

そんな中、今鎌ヶ谷市で例年取り組んでいる「地域づくりコーディネーター養成講座」という人材育成の講座があります。これは地域の中で人と人、組織と

組織と人とのつながりに関する様々な研究データが出てきていますが、鎌ヶ谷市にも関わっていただいているNPO法人CRファクトリーが出されている「コミュニティ白書2016」という冊子に上記の詳細なデータも含まれておりますので、ご興味のある方は是非手に取ってみてください。

このコラムの最初に記載した、地域活性化や地方創生の成功事例は地域の中での人とのつながりが生まれた中で起こりえた成果なのではないでしょうか？まちづくりは行政の仕事、NPO活動やボランティアは余力がある人がやれば良い、そういった一部の人間だけで地域や社会を創りあげていくのではなく地域や社会に関わる人たちが少しずつつながりあい、そのつながりの中から生まれてくる成果こそが本当の意味で活性化しているというのではないのでしょうか？

読者の皆さんに問いかけることが多いコラムとなりましたが正解は誰にも、もちろん私にもわかりませんが、この鎌ヶ谷で人とのつながりが増えていったとき、どんなことが起こっているのかを見てみたいと私は心から思っています。日本で一番人とのつながりがある街、鎌ヶ谷市がそんな街になったらとても面白いことが起きそうですね。

つながりと活性化

組織が互いに協働（多様な主体が一緒になって課題に取り組むこと）していきけるよう、その間に立つて仲介する役目であるコーディネーターと呼ばれる人材を育成する講座です。実は上記で紹介したNPO法人CRファクトリーに講座の企画運営を担っていただき、市と連携して実施しているのですが、こういった人と人を繋ぎ合わせる中間支援を行う人材が今の地域：いえ、地域だけではなく県や国単位でも必要になってきているのだと私は確信しています。



地域づくりコーディネーター養成講座の様子

かまラボがお手伝いできること

※ 正式名称は 鎌ヶ谷マネジメントラボです。長いので「かまラボ」で覚えてください！

これから何かはしめたい人には・・・

- 子育て中だけど、何か始めたいな
- 働いているから土日しか地元にいないけど、地域と関わりたい
- ゆっくりできる時間がとれるようになったので、何か地域で動きたい
- 団体(又はサークル)を作りたいけど、何から手を付ければいいのか？
- アイデアが浮かんだんだけど、これをカタチにするにはどうしたらいいの？
- イベントをやりたいけど、自分たちだけでやるには自信がなくて・・・

私たちが持っている情報をお伝えします！はじめの一步を踏み出しましょう！

すでに活動をしている人には・・・

- SNSで情報発信したいけど、わかる人が周りにいなくて・・・
- 事務局を作りたいけど、人手が足りないし、どこから準備すればいいの？

自団体でできるよう、お手伝いします！

- 考えてる事が何かモヤっとあるんだけど、うまく人に説明できない
- 何かあたらしい事をはじめたいけど、大変そうで結局いつも通り・・・
- 一人で抱えこんじゃって、ちょっと疲れ気味・・・
- 会員が思うように集まらない。何かよい手段はないかなあ

とりあえずお話しませんか？ 頭の中が整理されてくるかもしれませんよ！



【中間支援組織】の
かまラボに
ご相談下さい



かまラボ公認キャラ かまラボン

編集後記



この冊子を作るにあたり、市の方を始め、協力して下さった団体の方々、共に動いてくれた仲間には感謝しかありません。インタビューを通して活動への思いに触れ、たくさんの方とお知り合いになれたことも嬉しいです。2号以降も進化しながら発行していただけるよう、皆様応援して下さい！よろしくお願い致します！

甲斐 貴子

今回、小冊子作りに参加することで、編集会議・団体インタビューなど各団体の方々との出会いがあり、それぞれの団体が各分野にわたり活発な動きをしていることに感動しました。こうした経験を活かして、団体間のネットワークを紡いでいくことが中間支援団体としてのかまラボの役割だと実感しております。

二瓶 純子



冊子を1から組むのは初めてなのに、鎌ヶ谷のこともまだまだ知らなかった為とても緊張しながら・手探りの製作で、鎌ヶ谷の皆さんにお力添えいただいたお陰でなんとか完成しました。鎌ヶ谷の人々の思いの詰まった冊子になっています。この冊子が、何度も読み返されるようなものとなれば嬉しいです。

大石 果菜



小冊子、「ああ、あれね！」読んでいる方の立場としては大体こんな感じ、よーよーよー、と補らえてました。いざ作るほうに関わると、何をどうすればよいのやら…ともあれ鎌ヶ谷市、こんないろいろやっていますよ！何かの形で、皆様とつながる手助けになればと思います。ありがとうございます。

甲斐 聡

今回、市民活動の冊子を作ると聞いて「絶好の機会をいただいた」と、喜んでお手伝いをする事になりました。出版編集経験者として、ただひとつ心配だったのは、記事執筆と編集作業の時間でしたが、そんな僕の心配は杞憂にすぎませんでした。だって、こんなに素晴らしい冊子が完成したのですからね。

渡部 克弘

今回初めての官民協働による市民活動団体紹介冊子作成ということで私も非常に楽しみにしていました。各団体にしっかりとヒアリングを行い、一つの団体に関わる方の思いを丁寧にまとめていく、そんなプロセスを大切に創り上げました。協働だからこそ創り上げることができたこの冊子、是非ご堪能下さい。

影山 貴大

- ・この冊子についてのお問い合わせ
- ・活動についてのご相談は

鎌ヶ谷マネジメントラボ
kamalabo.info@gmail.com
080-4200-4780

までお願いします。

冊子作成・ワークショップにご協力いただいた皆さま（敬称略）

鎌ヶ谷こどもだんらん食堂 / エコネットかまがや / 鎌ヶ谷市ペタワーク協会 /

特定非営利活動法人鎌ヶ谷たすけあいの会 / ドラフカーズ / シニア・ピア・なごみ /

ぶらり鎌ヶ谷 / 一般社団法人 鎌ヶ谷青年会議所 / 鎌ヶ谷自治連合会 /

印西ウエットランドガイド 鎌ヶ谷 / 特定非営利活動法人 カナリヤ元気 /

鎌ヶ谷車いす点検整備ボランティアの会 / 鎌ヶ谷災害救援ボランティアネットワーク /

鎌ヶ谷生涯学習推進連絡会 / かまがや福祉レクリエーション協会 / 鼓調連 /

フロンティア未来 2025 / 歴史たんぼ



鎌ヶ谷市 市民活動紹介冊子「Gaya」創刊号 2018/1/28

発行：鎌ヶ谷マネジメントラボ 鎌ヶ谷市

*この冊子は平成 29 年度 鎌ヶ谷市市民活動支援補助金の助成を受けて作製しています。